

本大会に向け練習に励んでこられた皆さんの、熱のこもった演奏を嬉しく聴かせていただきました。

思うことを少しお伝えします。

ピアノは扱う音の数も多く、楽譜通りに正しい音を正しいリズム、適切なテンポで演奏するだけでも簡単ではありません。

ですから、どうしてもまずは正確に間違えずに鍵盤を弾くということばかりに意識が行きがちですが、「音楽」というのは字のごとく音を楽しむものですね。

その作品が何を表現し、音で何を伝えようとしているのかということ大切に、自分の奏でている音をよく聴き、音でどんな世界を創るのか、そしてそのためにどんなタッチでどんな音色、響きを出せばうまく表現できるのかなど、常に工夫をしながら取り組んでいければ、ますますピアノが楽しく、面白くなっていくのではないのでしょうか。

お一人お一人へのコメントは、一生懸命書きました。

ただ非常に短い時間の中ですので、書ききれず言葉の足りないところもあると思いますが、ご容赦下さい。

自分で上手く演奏できたと思う人、また反対に頑張ったのにたまたま失敗してしまった人、さまざまでしょう。

結果は一応の目安と考えていただき、あまりこだわらないで下さい。

決して目の前の、目に見える成果だけを求めることなく、

長い時間をかけて表現に必要なテクニックや感性をそれぞれのペースで磨いていき、じっくりひとつひとつの作品の魅力を味わい楽しみながら、どうぞピアノと仲良くして行って下さい。」

戸崎由香